

ケーゲル・シュタット・トリオ

～モーツァルトの名旋律をたずさえて、デンマークから音楽の旅へ～



2026.2.13(金) 14:00開演 13:30開場
今井館聖書講堂(駒込)

Program

モーツァルト(1756-1791): ケーゲルシュタット・トリオ 変ホ長調 K. 498

カーステン・ダール(1967-): I X Θ T Σ (イクテュス) *日本初演

ブルッフ(1838-1920): 8つの小品 Op.83

Ticket 自由席・お茶とお菓子付き 一般5,000円 シニア4,000円 65歳以上、当日年齢確認のできる
身分証明書提示でキャッシュバック

ご予約・お申し込み: ムジカキアラ Tel. 03-6431-8186(平日10:00-18:00)

E-mail. info@musicachiara.com

プレイガイド: イープラス <https://eplus.jp>

主催: ムジカキアラ 協力: BRØD 後援: デンマーク王国大使館

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※曲目曲順は変更になる場合がございます。

BRØD



ROYAL DANISH EMBASSY
Tokyo

The Kegelstatt Trio

デンマークの名手たちによるアンサンブルは、モーツァルトの名作《ケーゲルシュタット・トリオ》で幕を開けます。クラリネット、ヴィオラ、ピアノが織りなす豊かな響きは、この編成ならではの魅力。続いて、デンマークの作曲家カーステン・ダールによる《ICHTHYS》を日本初演。祈りにも似た静謐さと力強さを兼ね備えた新しい世界が広がります。後半には、ブルッフの《8つの小品》をたっぷり。美しく歌う旋律から躍動感あふれる楽章まで、三重奏の多彩な表情をお楽しみいただけるプログラムです。途中の“デンマークを味わうお茶の時間”とともに、心豊かな午後をお過ごしください。

ケーゲル・シュタット・トリオ

2018年に結成された、デンマークを代表する3人の音楽家によるトリオ。名称はモーツァルトの名高い室内楽曲《ケーゲルシュタット・トリオ》に由来する。クラリネット、ヴィオラ、ピアノという稀少な編成を専門とし、限られた既存のレパートリーを深めるとともに、アナス・コッペル、エドワード・スマルドーネ、吉田文ら現代作曲家に新作を委嘱している。

クラリネット
セーレン＝フィリップ・ブリクス・ハンセン
Søren-Filip Brix Hansen

1986年生まれ。デンマーク王立音楽院およびニューヨークのアロン・コーブランド音楽院クイーンズ・カレッジで学び、2016年に大学院課程を修了。ヨーゲン・ミッサー・イェンセン、ジョン・クルーゼ、チャールズ・ナイディック、アンドレアス・スンデーンに師事。マルティン・フレスト、ヴォルフガング・マイヤー、フィリップ・ペロ、ミシェル・アリニョン、ヤフダ・ギラッドらのマスタークラスにも参加している。2015年よりデンマーク王立近衛兵吹奏楽団クラリネット奏者を務め、デンマーク国内の主要オーケストラ、デンマーク王立管弦楽団、アンサンブル・ストルストロム、ヘルシンボリ交響楽団などでも演奏してきた。デンマーク王立近衛兵吹奏楽団やデンマーク放送交響楽団のソリストとしても出演している。エドワード・スマルドーネ、アンデルス・コッペル、吉田文、ジョナサン・メスタートン＝ピッター、ベンヤミン・デ・ムラスキン、ナヤ・シールといった作曲家たちが彼のために室内楽や協奏曲を作曲している。2013年から管楽五重奏団オーブス・ズーのメンバー、2018年からケーゲルシュタット・トリオのメンバーとして活動。2021年にはコペンハーゲンに室内楽協会「クラシック・イン・フレデリクスベア」を設立し、現在は会長を務めている。

ピアノ
グスタフ・ピークト
Gustav Piekut, Piano

デンマーク出身の若きピアニスト、グスタフ・ピークト。BBC Music Magazine に「技術的精確さと即興的なひらめきの理想的な均衡」と評され、Pizzicato Magazine からは「真の音楽詩人、真のサウンド・アーティスト」と称される。ナクソスよりリリースした《Towards the Flame》は国際的に高い評価を受け、2022年国際クラシック音楽賞（ICMA）にノミネートされた。コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団、オーフス交響楽団ほか欧州各地のオーケストラと共演し、ベートーヴェン、プロコフィエフ、ショパン、ガーシュウインの協奏曲で鮮烈な印象を残している。オーフス国際ピアノ・コンクール、キッセンゲン・クラヴィアオリンピアードなど主要国際コンクールで入賞。さらにデンマーク音楽批評家協会アーティスト賞、デンマーク放送P2タレント賞、カール・ニールセン＆アンネ・マリー・カール＝ニールセン・タレント賞、レオニー・ソニング・タレント賞など、国内の権威ある賞を多数受賞。ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第3番》では「制御不能な感情の奔流を生み、聴衆の稀有な大喝采を引き起こした」と高く評価された。

ヴィオラ
イーベン・テイルマン
Iben Teilmann, violin

12歳でヴァイオリンからヴィオラに転向し、姉妹や従兄弟と弦楽四重奏団を結成。デンマーク王立音楽院でヨセフ・コドウセクに、ロンドンのギルドホール音楽院でデイヴィッド・タケノに、クレモナのアカデミア・ウォルター・スタウファーでブルーノ・ジュランナに師事した。2001年からデンマーク王立管弦楽団の首席ヴィオラ奏者を務め、室内楽やソリストとしても多くの舞台に立つ。同団の理事会副会長も務めている。オーケストラでの活動と並行して室内楽を重視し、デンマーク国内各地やスウェーデン、ノルウェー、ドイツ、フランス、イタリア、アメリカなど世界各地の音楽祭に出演。2019年にはダネプロ勲章を授与された。また、才能ある子どもや若者を対象とした講習会、演奏機会の創出などを積極的に企画・運営し、この分野におけるデンマークの教育活動の発展に力を注いでいる。

♪ 休憩時間のお楽しみ♪ デンマークを味わうお茶の時間



1835年創業、コペンハーゲンの老舗紅茶ブランド A.C. パークスの人気フレーバーティー「ホワイトテンプル」は、貴重な白茶をベースに、パイナップル、マンゴー、オレンジピール、パパイア、ストロベリー、アプリコットなどの様々なフルーツを加えた華やかなブレンド。

『エル・グルメ (ELLE gourmet)』で紹介され、今話題の広尾のマイクロベーカリー BRØD の店主クリスティーナ・ガネア氏が手がけたデンマークの伝統的菓子、バニラ風味のリース型をしたクッキーです。

